

令和2年5月29日

卓球部員のみなさんへ

東京高体連卓球男子専門部委員長

東京都立小川高等学校 平 雅行

地区別卓球大会、多摩地区卓球大会 中止について

卓球部員のみなさんこんにちは。東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長、小川高等学校の平雅行です。

4月27日に「インターハイ中止について」お伝えしましたが、またこのようなメッセージをみなさんに伝えなければいけません。

ようやく5月25日に緊急事態宣言が解除され、学校も分散登校ではありますが、少しずつ普段の生活に戻りつつあります。私たち役員は、7月21日の地区別学校卓球大会、8月7日から9日の多摩地区高等学校卓球大会の実施を願い準備を重ねてきました。しかし、5月29日（金）に東京都高等学校体育連盟事務局から「7月と8月の本連盟の主催事業は延期または中止」との連絡がありました。非常に残念な思いです。前回のメッセージでも書きましたが、私もみなさんと同じように東京都の高校に通い卓球部員でした。高校時代は多摩地区の学校に通っていたので多摩地区大会に参加しました。また教員になってからは、前任校が23区の学校でしたので、地区別卓球大会に監督・顧問・役員として携わり、1度だけですが城南地区で優勝を経験し、生徒と一緒に喜んだことを今でも鮮明に覚えています。今年度の大会がまだ一度も開催できていないにも関わらず、3年生が参加できる最後の大会が中止になったことは母猿断腸の思いです。

私たち役員は、9月以降の大会に向けて準備を進めております。一日も早く通常通りの部活動や大会が再開できるようになり、大会等でお会いできることを楽しみにしております。

最後に『この秋は雨か嵐か知らねども 今日のためには田草とるなり』という詩を送ります。これは二宮尊徳の詩で、秋になると雨が降ったり嵐が来たりして、稲がどうなるかわからないけれど、今は目の前の雑草を取り除くことが大切だという意味です。これから先、何が起きるかを正確には見通すことはできません。「今」できることは、目の前のことを淡々とやることです。今できることに対してしっかりと取り組んでほしいと思い、この詩を紹介しました。